

Hi-Bec Times

2019
Autumn
Winter

Washing Revolution of Japan! 日本にお洗濯革命! 株式会社サンワードのハイ・ベック通信!

Column Special

- ニュー・プラスチック・エコミー
- お洗濯常識! ?非常識! ?
- 羊毛と獣毛のあれこれ!

■ダウンの洗い方 ~達人への道~

近年、プラスチックごみについての驚くべき報告が発表されました。石油由来のプラスチックは自然に分解されず、海に流された微細な粒子は海洋生物やそれを食する人に悪影響を及ぼし、2050年には海洋プラスチックごみが世界の魚の重量を超えるというものです。私達の生活の中でも、一部の洗顔料や歯磨き粉のスクラブにプラスチックが使用されていることや、合成繊維を洗濯する際にプラスチック粒子が排水されている事など、気付かないうちに環境に負担を与えている可能性があります。

今、世界中でプラスチックごみの廃棄量を減らす様々な取り組みが行われています。大手企業がレジ袋の廃止やプラ製ストローの廃止を発表して話題となったことは記憶に新しいですが、プラスチックごみを原料にした洋服を作るプロジェクトや、プラスチックごみを原料にした洋服ブランドが発足する等、画期的な取組も始まりました。このような活動はそれ自身が環境保護に繋がるだけでなく、消費者が環境問題を意識するきっかけとなる事も重要であるように思います。

ハイベックは十年以上前から環境に負担の少ない植物系ドライ溶剤に注目し、いち早く製品に取り入れられました。しかし、その原料は従来の石油由来の物よりも七倍以上高価で、環境に優しくとも、お客様に受け入れて頂けるか不安もありました。そして現在、市場を見渡すと各メーカーが植物由来や自然派をコンセプトにした商品を相次いで開発し、空前のボタニカルブームと言われるようになったことで、ようやく私達が目指してきたことが間違っていないかと、改めて感じる事ができました。

企業は時に、社会的責任と顧客満足度の間で岐路に立たされる場合があります。しかし、私達は変わらない信念のもとに、お洗濯で変えられるより良い未来があると信じて、これからも進み続けて参ります。

ニュー・プラスチック・エコノミー



ダウンの洗い方 ~達人への道~



寒い時期に大活躍のダウンジャケットですが、毎日着るものだからこそ洗濯回数も少なくなりがちではありませんか? 目には見えにくくても1回でも着用すると汗や排気ガス等の汚れを溜め込んでいる状態です。さらに、汚れは時間の経過とともにどんどん増え続けていきます。

着用したダウンにつく	汚れの付着量
1日目	5.25g
1週間	7.52g
2週間	10.28g
1ヶ月	15.18g

Tatsujin's point 達人ポイント



ボタンやファスナーを閉めたらお洗濯スタート!

ハイベック液の中で、ダウンを小さくたたんで空気を抜く



5回ほど繰り返す

一旦手を離しハイベック液を浸透させる



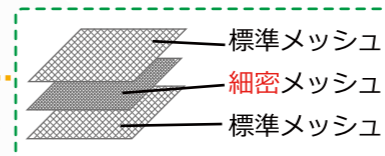
ダウンはつけ込みの前にしっかり中までハイベック液を浸透させる必要があります。簡単に浸透させるコツは『液の中でダウンを小さくたたむ』ことです。たたみながら押すことで空気が抜けやすくなります。全体に液が浸透したら、いつも通り5分間つけ置きするだけ!

オススメアイテム



トリプルガードネットを使うととっても簡単です!

3重構造の丈夫なネット



縦40cm×横50cmの大きめサイズで1枚持っているとっても便利です! ダウンはもちろん、セーターや装飾品のついた衣類にも使える優れもの! 1年中大活躍してくれます。



襟・袖・気になる汚れは先に落とす

お水をたっぷりつけたあと、ブラシに原液をつけて一定方向にブラシ掛けしましょう。

※ナイロン・ポリエステル以外の素材は軽く叩いてシミ抜きしてください。

脱水時間は守れていますか?

ダウンの中に溜まった汚れを出すために、脱水は1~2分しっかり行います。脱水が弱いと汚れが残ってしまい輪ジミの原因になります。

濡れた状態で羽毛を広げると

羽毛の芯が折れて油ジミができてしまうかも! 膨らみが足りない時は、完全に乾いた後、全体を叩いてほぐすことで元の状態に戻ります。

発行: 株式会社サンワード SINCE1981

本社/熊本県熊本市中央区上通町2-30
東京事業所/東京都武蔵村山市榎2-8 4-5

お問い合わせはフリーダイヤル
ハイ・ベックお客様相談室 0120-668689

©オフィシャルホームページ
<http://www.sunward.co.jp/>

マイペースに
ブログ更新中!

文責は当社に有しておりますので、無断転載はご遠慮ください。尚、ご意見やご感想がございましたら、上記に記載のお客様相談室までお電話でお問い合わせ下さい。

<取扱店>

次の12の文章のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけて下さい。さて、あなたのお洗濯常識度はどれくらい…!?

解答と解説

問題

- Q.1** 取扱絵表示に付いている **(P) (F)** このマークは“ドライクリーニングにだして下さい”という意味である。
- Q.2** ドライクリーニングは全ての汚れを落とすことができる。
- Q.3** セーターを洗うときは、ぬるま湯を使い優しく押し洗いをする。
- Q.4** 汚れがひどい衣類を洗うときは、洗剤(溶剤)の量を通常の倍にして洗うとよい。
- Q.5** 麻のジャケットについたシミをブラシで一方方向に強くこすって汚れを落とした。
- Q.6** すすぎは1回、軽くお水にくぐらせるだけでよい。
- Q.7** 脱水は、回転がピークに達してから5秒間くらいが目安である。
- Q.8** 洗った衣類はなるべく早く乾かした方がよいので、形を整えて日当たりのよいところに干す。
- Q.9** つけ込みの途中、衣類から色が出てきたらすぐに取り出し、きつく脱水した後お水の中でよくすすぐとよい。
- Q.10** シミの部分はアイロン掛けをしない方がよい。
- Q.11** レーヨン素材は、素材の性質上、水につけると縮んでしまうが、アイロンでスチームを与えてひっぱると伸ばすことができる。
- Q.12** ハイベックで正しく洗えば、全ての衣類を色落ちなく洗い上げることができる。

- A.1** “ドライクリーニングできません”という意味です。ドライマークが×でなければハイベックで洗うことができます。 **答 ×**
- A.2** ドライクリーニングでは油性の汚れしか落とせません。汗やコーヒー、醤油などは水溶性の汚れなので水を使わないと落ちません。 **答 ×**
- A.3** ハイベックはお水を使って洗います。温度差や、押ししたり揉んだりすることは縮みの原因です。 **答 ×**
- A.4** 洗剤は、規定の量より少ないとトラブルの原因となりますが、倍入れたからといって汚れ落ちが倍になることはありません。 **答 ×**
- A.5** 麻やテセルは毛羽立ち・色落ちしやすい素材なので、ブラシがけはこするよりも叩くようにして下さい。 **答 ×**
- A.6** 揮発性の溶剤なのですすぎは1回です。過剰なすすぎは衣類の風合いを損なう原因となります。 **答 ○**
- A.7** 脱水は回転がピークに達してから5秒程度。衣類を干したときに水が滴ってこないくらいを目安にして下さい。過剰脱水は脱水ジワのもとです。 **答 ○**
- A.8** 濡れた状態で直射日光に当てるのは色褪せの原因となりよくありません。ガラス越しでも要注意。風通しのよいところに陰干して下さい。 **答 ×**
- A.9** 取り出したら、すぐにたっぷりの水の中ですすぎます。先に脱水してしまうと、そこで色移りしてしまう恐れがあります。 **答 ×**
- A.10** シミの部分にアイロン掛けをしてしまうと、熱処理されてシミが落ちにくくなってしまいます。 **答 ○**
- A.11** レーヨン素材を洗うときは、予め寸法を計っておく(型紙をとる)と安心です。 **答 ○**
- A.12** 過剰染色されたもの、色止め加工が不完全な物は、どのように洗っても色は出ます。汚れが軽いうちに短時間で洗うしかありません。 **答 ×**

正解が10以上の人

正解が9~7の人

正解が6~4の人

正解が3以下の人

あなたはスーパーハイベック人です。是非、お友達やお隣さんへあなたのお洗濯の知識を伝えてあげてください。

あなたは“おっ”ハイベック人です。ベテランのあなた! チョット手抜き、チョットうっかりしてませんか? 初心に戻ってみましょう。

あなたはちょっとハイベック人です。もう一度基礎からお勉強しましょう! お近くのお洗濯教室へ是非、ご参加ください。

あなたはハイベック自由人です。あなたの衣類がとても心配! 自己流ではなくお洗濯ガイドでご確認を...

羊毛と獣毛のあれこれ!

羊毛・獣毛とは?

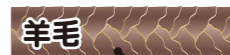
毛の取れる動物は数多くいますが、実は衣料用として採取できる動物は限られています。たとえば豚・牛・馬の毛はブラシ類などに使われることはありますが、衣料の繊維として用いられることはありません。一方、羊・やぎ・うさぎ・らくだの毛は、衣料の繊維としてよく用いられます。なかでも最も生産量が多いのが羊の毛で羊毛(ようもう)と呼び、羊以外の動物の毛を獣毛(じゅうもう)と呼びます。

Q そもそもなぜ羊毛と獣毛は区別されるの? A

繊維の組織構造に3つの違いがあるからです。

クリンプ(縮れ)の違い

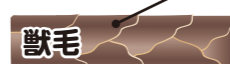
羊毛・・・繊維の縮れが多い
獣毛・・・繊維の縮れが少ない



スケール(うろこ)

スケール(うろこ)の違い

羊毛・・・しっかり覆われている
獣毛・・・非常に少ない



メデュラ(毛髓)

メデュラ(毛髓)の違い

羊毛・・・ほとんどない
獣毛・・・非常に発達している



羊毛

◎ 細かい縮れが上手く絡み合っ
て紡ぎやすく取扱いやすい

注意 水に濡れると、うろこの先端が立ち
揉まれた時に絡み合いフェルト化する

獣毛

◎ うろこ間が広く平滑である為
手触りが滑らかで柔らかい

◎ 毛髓の中に多くの空気を含む為
保湿性があって温かい

羊毛と獣毛種類別! 繊維の細さと特徴

繊維の細さ1μm(ミクロン)は1000分の1mm
人間の髪の毛は約50~100μm

獣毛は、羊毛の年間生産量に対して全体の約20分の1しか生産されない為『レア・ファイバー(希少繊維)』とも呼ばれています。希少というだけあってどれも優雅な光沢がありその多くが羊毛より細くて軽いのが特徴です。

ウール 19.5μm(高級羊毛)

熱の伝導率が低いので冬は暖かく夏は涼しい

注意 摩擦などにより毛玉になりやすい

ビキューナ 10~14μm

獣毛繊維の中でもっとも細くて軽い為『神の糸』とも呼ばれ希少価値が有りとても高価

アンゴラウサギ 12~14μm

手触りが滑らかで染色性が良い

注意 繊維が絡みにくく毛が抜けやすい

カシミヤヤギ 15~17μm

しなやかさと上品な光沢感がある
吸湿性に優れている

注意 摩擦などにより毛玉になりやすい

キヤメル 19~25μm

キヤメル独特の光沢があるが染色性が悪く
ほとんどが原色である

アルパカ 20~34μm

防水性に優れていて汚れが付きにくい
とても丈夫で耐久性が良く毛玉になりにくい

ハイベックでやってほしい5つの事!

① つけ込み時間は5分間

長時間のお洗濯は、毛特有の風合いを失う原因。

② つけ込む間は触らない

押ししたり揉んだりフェルト化の原因。

③ 常温のお水でお洗濯

ぬるま湯でのお洗濯は縮みの原因。

④ ハイベックブラシをかける

お洗濯後の毛乱れは、乾燥後にアイロン蒸気をかけながら毛並を整えると光沢感が回復。

⑤ トリプルガードネットを使う

衣類同士の摩擦を避けて、毛玉・抜け毛を防ぐ。

1日着たら休養してね♪
デリケートな素材は、連日の着用を避け、2~3日風通しして湿気を取って衣類を休ませましょう!
又、定期的にハイベックで衣類を清潔にし通気性や保湿性を保って寒い季節を乗り切りましょう!